

武石地域協議会 会議概要

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成23年5月25日 午後7時00分から午後9時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、上野正司委員、大沢春樹委員、北沢賢二委員、清住章雄委員、清住洋子委員、越 博徳委員、小宮山昌武委員、小山洋江委員、下村孝明委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、樋澤たえ子委員、松井幸夫委員、松代典之委員、森美由紀委員、柳沢裕子委員(欠席2名) 柿畠祐子委員、竹内利通委員、
- 5 市側出席者 小宮山市民参加・協働推進課長、広川開発公社事務局長、木藤地域振興課長、山口市民生活課長、近藤健康福祉課長、牛山産業観光課長兼建設課長、児玉地域振興課長補佐
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 23年6月8日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協議事項等

- 1 開会(滝沢副会長)
- 2 会長あいさつ(清住会長)
農繁期を迎え農業者には厳しい時間設定だがご理解いただきたい。震災の影響があり観光客が少なく、製造業の落ち込みも厳しいと聞く、みんなで協力して乗り切りたい。本日は、自治基本条例と雲溪荘のあり方が議題となっている。それぞれ担当される課長、局長に説明いただくのでよく理解できると思う、お聴き取りいただき、協議を深めていただきたい。
- 3 センター長あいさつ(木藤センター次長)
センター長は東京で会議のため木藤がかわりご挨拶する。震災支援については上田市も消防、水道、保健など広く対応していたが、このところ練馬区と姉妹都市の宮城県亘理町へ共同で職員を派遣しており、武石地域自治センターからも係長1名が1週間参加した。義援金も必要なところへ市長はじめ幹部自ら届けている。武石の状況は、スキー場の整備が始まっており12月オープンに向けて動き出している。本日は本庁から小宮山課長が来ており自治基本条例について説明していただく予定だが、協議事項に雲溪荘の現状と課題について広川事務局長の説明があるため、短時間の説明を依頼している。宜しく願いたい。
- 4 報告事項
(1) 4月1日に施行された自治基本条例について
(小宮山市民参加・協働課長) 本日は時間がないということなので30分で概要説明をしたい。6月10日には、武石地域で自治基本条例の住民説明会が開催される。当日は1時間30分をかけて逐条説明をするので説明会にも参加願いたい。
資料説明
①リーフレット「活力ある自立した地域社会をつくる上田市自治基本条例」
②上田市自治基本条例 逐条解説
- (2) 武石地域の森林税の活用状況について
(牛山産業観光課長)
①長野県森林づくり県民税の概要について
②武石地域の実績について 平成20年から、下本入地区の間伐を実施、31.5ha
平成23年度は上下小寺尾20haの間伐を予定
(委員)間伐の希望は出せるか。
(産業観光課長)可能なので相談してほしい。
- 5 協議事項
(1)雲溪荘の現状と課題について

(会長) 本日は資料に基づいた説明と質疑にいただき、次回も引き続き協議をいただきたい。

資料説明(武石開発公社 広川事務局長) 資料①雲溪荘の利用の推移と H22 月別利用者数の推移
資料②H22 うつくしの湯と雲溪荘利用券利用の推移 資料③雲溪荘利用者の地域別の状況について
以下により順次説明した。

- ・公社事業と雲溪荘事業の沿革
- ・雲溪荘利用者・売上等の推移
- ・雲溪荘利用者の地域別の状況
- ・雲溪荘利用補助券の利用状況と廃止後の影響
- ・最近の雲溪荘の決算状況
- ・雲溪荘施設の老朽化と概算修繕費
- ・施設改修の概算事業費
- ・剰余金使途検討委員会答申
- ・開発公社としての今後の考え方
- ・19年12月上田市行政改革推進委員会答申の概要

まとめ 公社は全体で経営改善につとめている。待遇についても、地元の評価は低いですが、たとえば練馬区民からの評価は常に高い。料理の向上と低料金化の方向で努力したい。

市へお願いしたいことは、鹿月荘、雲溪荘は市営の施設、市が旅館経営をすることが果たして良いか。宿泊者の70%は県外の利用者なのにここに税金を投入していいか。と考えてしまう。松本市では、市営の旅館を老人の家として改造し、地元市民は4,000円、その他市民は6,000円、市外は8,000円で利用していただいている例がある。雲溪荘の利用で地元が多いのは日帰り。それならうつくしの湯に中広間を設け、そこで日帰り客を大切にしよう運営を充実させていったらどうかと思う。そのようなことも含めて、市の考え方を示していただきたい。

質疑

(委員)数字を見ると、普通の会社なら倒産というものである。うつくしの湯の改造などの手段を講じ、雲溪荘の経営の継続は難しいと言わざるをえない。

(事務局長) 公社としても3年後からは民間の参入も考える中で、指定管理を検討する必要があるとは認識している。

(委員)温泉施設としてでなく、違う利用はできないか。

(事務局長) 違う利用にすると決めるのは市である。地域協議会で検討を深めていただき、方向を示していただければ公社としてもありがたい。

(委員)コンサルタントを入れた成果はH22では出ていないが、H23で出るのか。

(事務局長) コンサルタントをいれたからといって、すぐに効果が出るというものではない。一部では改善している。

(委員)耐震性能が基準を満たしていない施設に宿泊をさせていいのか。

(事務局長) 耐震基準が示される前に建設された施設なので、改修しなければ今のままで使っていける。耐震改修やその他の改修など大金をかけないと継続が困難なほど全体的に老朽化しており、利用者も減少している。地域の皆さんには、公社の職員に要望をするばかりではなく、今後どうしたらいいか現状をよく理解していただき、責任を持って考えていただきたい。

(会長)委員の一人から雲溪荘活性化についての提言が提出されたので、併せて検討いただきたい。

(委員)雲溪荘の非常に厳しい状況はわかったが、雲溪荘に対する私の願いを提言という形でまとめてみた。ご覧いただきたい。

資料説明

①雲溪荘活性化についての提案書

(会長) この提案書も含めて協議を次回に継続させることでよろしいか。

(委員一同) 了承

その他

(委員) 小牧線が通行止めになり困っている市民が多い。このような問題こそ解決に時間を要してはならないと思う。迅速な対応を願いたい。

(担当課長) 対応は丸子の建設課が担当している。崩落部分の上部にかなり危険な箇所があるため、通行再開には時間がかかる見通しである。近々に説明会を開催して状況と今後の対応を説明していく予定である。

(委員)関連して、大石橋の信号の時間調整はできないか。
(担当課長)先日警察で調整済である。

次回日程

協議の末 6月23日(木)と決定する。

6 閉会 (滝沢副会長)